

農政だより

第135号

令和6年1月

発行 羽村市農業委員会

羽村市緑ヶ丘 5-2-1

電話 042-555-1111



はむら市民と産業のまつり 2023「農業後継者クラブによる宝船」(令和5年11月4日撮影)

年頭ご挨拶

羽村市農業委員会

会長 石田 正弘

新年明けましておめでとございます。早いもので新しい体制での委員会も半年を迎えようとしています。

昨年は異常気象 高温化により、特に秋作農産物栽培にはご苦労なされたかと思えます。4年ぶりに開催 農業展では農産物共進会 チャリティバザー、宝船 即売会と素晴らしい農産物が出品されました。

市民に農業を理解してもらうにはよい機会をたぎってはなにかと思います。

しかしながら、本年も農業資材 高騰もまだまだ予想されます。本年も農業委員会 は全力で農家皆様をサポートしていきたいと思っております。どうかご協力をお願いいたします。

結びにあたり、今年も皆様笑顔溢れる年でありますように、また、よい農業が出来ますようにご祈念申し上げ年頭挨拶とさせていただきます。



羽村市農業委員会

委員 井上 淳孝

家の生業



昭和20年、父が学徒動員で上野から仙台、青森を経て、北海道へ渡り、北限のサロベツ原野で丸3か月、ジャガイモ作り。ジャガイモからとれる澱粉が軍需品だった。

17歳で親元を離れ、汗して働く事の話が父の自慢であった。

昭和30年、当時先進的なデンマーク式豚舎を建て、種豚を飼い、繁殖養豚を始めた。英国リバプールからヨークシャ種の種豚が50頭、初めて日本に入り、その内の1頭が我が家に来た。最盛期には350頭の豚との生活が始まる。

昭和47年、周辺環境と社会情勢の変化に伴い、養豚からポットマムの菊作りを始める。ジャックストローという黄色い線香花火の様な花卉が印象に残っている。この菊は、農林水産大臣

賞を受賞するが、当時の長谷川四郎を「ながたにかわしろ」と読む私に、「はせがわ」との読み方を父から教わったのが懐かしい。

あれから、50年の歳月が過ぎた。羽村の農業はどうであろう。

昭和46年に有機農業という言葉が出た。農協役員の一楽照雄が考案した言葉だ。環境保全型農業、SDGs等々、多様な言葉の意味を持たせた。平成12年西多摩農協の店舗に“ベジベジ”という名の自然派やさしい直売所ができた。

平成18年、有機農業推進法が施行され、令和3年4月に東京都環境保全型農業推進基本方針が策定され、自分もその策定にあたり意見を云う立場になった。農水省は農業大学校や農業高校での有機農業を教える体制の整備を加速させ、2050年までに有機農業の面積を100万haとする「みどりの農業システム戦略」の目標達成に向け、教育機関において将来の担い手を育

成するという。

自分の就農当時と時代の隔世を感じずにはいられない。

農業は見えない物への畏怖、他者への思いやり、寛容、感謝、礼節等、次世代への欠かす事のできない産業となるであろう。



頑張っています

農業委員会

各種研究集会・研修会への参加

9月27日、瑞穂町で開催された西多摩地区農業委員研修会に農業委員全員で参加し、農地法の現状や相続税制度などについて学びました。また、10月19日には、立川市で開催された会長職務代理者研究集会に新井職務代理が参加し、東大和市の農業委員会活動などの視察を、10月26〜27日には愛知県知立市で開催された農業委員会会長研究集会に石田会長が参加し、知立市の農業の概要や生産緑地等の状況について視察を行いました。

その他、広報研究会や農業者年金制度推進研究会などにも担当委員が参加し、



日々変わっていく農地制度の知識を深めたり、農業委員としての活動の質を高めるため、頑張っています。

農地現地調査

10月23日に、農業委員と農業委員会事務局職員、都市計画課職員が2班に分かれて農地現地調査を行いました。調査の結果、管理不十分と判断された農地については、所有者へ適切な管理をお願いしました。

相続税納税猶予制度の適用農地で、耕作放棄と判断された場合、猶予が打ち切られ、元本だけでなく利息も含めて支払うよう税務署から求められることになってしまいました。

農業委員会では、今後も管理不足農地「ゼロ」に向け取り組んでいきます。



農ウオークイン羽村

11月22日に農ウオークイン羽村を開催し、秋晴れの青空の中、21名の方が参加しました。

今年には石田博重さん、宮川修典さん、石田会長、中島浩志さん、井上淳孝さんの圃場を回り、ダイコン、コマツナ、パンジー・ビオラ、ジャガイモの収穫やチューリップ球根の植付を楽しく体験していただきました。

参加者には、収穫した野菜とお花、球根を植え付けた羽水田でとれた新米の他にも、元農業委員の大野元雄さんからは東京牛乳、共催の西多摩農業協同組合からはエコバックを頂き、お土産として持ってきました。

参加者からは「農家の皆さんの苦労が分かった。」「直売所で野菜や花を買うのが楽しみになった。」「などの声がありました。」





農業日誌



援農ボランティア交流会

10月13日、宮川修さんのご自宅で援農ボランティアと受入農家による交流会が5年ぶりに開催され、32人が参加しました。

受入農家の野菜を使ったバーベキューを楽しみながら、それぞれの活動について発表し、意見交換しました。

今年からボランティアを始めた方から

長年続

けている

ボランティアの方

まで、参加者全体

が家族の

ような温かい交流

会となりました。



農業団体協議会「視察研修」

10月11日、千葉県のカサネメッセで開催された第13回 農業WEEKを農業団体協議会が視察し、農家17人が参加しました。

会場にはビニールハウス、肥料、農業機械、6次産業

化設備など、農業

生産に関する

あらゆる資

材・技術・サービス

が展示されて

いました。



はむら市民と産業のまつり 2023 農業展

11月4〜5日、S&Dスポーツパーク富士見ではむら市民と産業のまつり 2023が開催され、農業展では農産

物共進会、農産物直売、農産物チャリティーバザー、野菜宝船展示販売、トラクター展示、野菜収穫体験などを行い、多くの参加者にぎわいました。



その他の主な活動

10月

20日 チューリップ生産組合総会

23日 農業委員会総会・農地現地調査

11月

10・11日 園芸組合花いっぱい運動花苗配布

16日〜 チューリップ球根植付け

24日 農業委員会総会

12月

20日 農業委員会総会・農地現地調査

「普及センタ」から

はむら市民と産業のまつり

農業展農産物共進会審査講評

4年ぶりに、はむら市民と産業のまつり農業展農産物共進会が盛大に開催されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

令和5年の天候を振り返りますと、年明けから平年値を上回る気温となり、特に7～9月の平均気温は平年より3℃近く高く(青梅市)、11月まで高温の日が続きました。また、降水量は6月に台風2号の影響から平年値の倍近い降水量となりましたが、7月以降は乾燥し、秋野菜の播種・定植の遅れや、生育に大きな影響を及ぼしました。

このように今年も高温や乾燥など極端な気象の影響を受け、共進会の出品点数は157点と、コロナ禍前の令和元年の出品点数180点より23点少なくなりましたが、生産者の皆様のご努力により、数多くの良品がみられました。あらためて、皆様の栽培管理に対する熱意に敬意を表し、以下に審査講評を述べさせていただきます。

【野菜の部】(89点)

根茎菜類 20点

・だいこん(4点)

全体的に乾燥の影響から細根の跡が深い物が多く、また、微小ですがセンチュウ害がありましたので、ご注意願います。入賞したものは、肌がきれいで、尻が詰まっており、青首ダイコンの形状が良く現れているものでした。

・にんじん(2点)

播種時期の高温、乾燥により発芽や生育が揃わず、栽培が難しい年になったと思います。肌の光沢が良好でしたが、一部肩が緑化していましたので、土寄せ等管理をお願いします。

・さといも(7点)

乾燥の影響から、肥大不足の物が多くありました。入賞したものは、揃いがよく、割れが少ない良好なものでした。

・やつがしら(3点)

さといもと同様に、乾燥の影響から小ぶりなものでした。やや調整が不足していますので、適切な調整をお願いします。

・さつまいも(2点)

曲がりやくぼみが少なく揃いが良好なものが入賞となりました。一部に、ハリガネムシによる害が見られましたので、防除をお願いします。

す。

・かぶ(2点)

出品点数は少なかったのですが、揃いが良く、肌がきめ細かく光沢がある良品を入賞としました。葉の防除も適切にされていたことも高評価につながりました。

葉菜類 35点

・はくさい(3点)

播種期以降の高温により、頭部の巻きが緩いものがありました。入賞したものは、病虫害が無く、結球もしっかりしたものでした。

・きゃべつ(11点)

形状、大きさ、揃い、病虫害、調整等を総合的に判断し審査しました。上位入賞のものは大きさ、形状、揃いとも素晴らしく、東京都産業労働局長賞としました。一部、外葉が1～2枚多いものがありましたので、ご注意願います。

・ブロッコリー(7点)

良品が多数出品されていました。その中でも特に花蕾の盛り上がり、揃い、しまりの良いものを上位としました。一方、今年の気象条件から花蕾がごつごつしているもの、花蕾の中から葉が発生しているものが見られました。

・カリフラワー(2点)

花蕾は白く良好でしたが、花蕾をガードする

枝を切りすぎていましたので、調整には注意してください。

・レタス(2点)・ロメインレタス(2点)

レタス、ロメインレタス共に結球の状態が良く、病虫害も見られない良品でした。より良品であったレタスを上位入賞としました。

・チンゲン菜(2点)

尻部の張りが良く、葉柄のツヤもある良品でした。

・ねぎ(3点)・玉ねぎ(3点)

ネギは天候の関係から軟白部が少なく、葉も害虫による害が目立ちましたが、そろいは良品でした。玉ねぎはやや小ぶりでしたが、こちらもそろいは良品でした。

果菜類 34点

・きゅうり(11点)

光沢があり、形状のよいものが多数出品されてきました。その中でも、特に形状に優れ、真っ直ぐで、揃いがよく、光沢が優れているものを東京都知事賞としました。

・ナス(3点)

暑さの影響から果皮の光沢が少なく、形状のばらつきがやや見受けられました。

・トマト(5点)

いずれも熟度がよく揃った良品が出品され

ていました。残念ながら天候の影響から裂果が多く見受けられました。揃いが良く、裂果のない物を上位としました。

・ピーマン(12点)・パプリカ(3点)

いずれも光沢があり、病虫害被害もみられない良品ばかりでした。このうち、果実に張りがあり、光沢と揃いの優れたピーマンを羽村市長賞としました。パプリカは、形状とそろいが良好であったミディパプリカを入賞としました。

【果実の部】(9点)

・みかん(4点)

全体的に小ぶりの物が出品されていました。比較的薄皮で、適度に扁平で揃いに優れており、色調が良好なものを羽村市長賞としました。

・ゆず(4点)

表面に病虫害被害が目立つものがありました。揃い、肥大、香り、調整が良好なものを東京都農業振興事務所長賞としました。

・その他キウイフルーツ(1点)の出品がありました。

【花きの部】(59点)

・パンジー(16点)・ビオラ(24点)

パンジー、ビオラには花の配色の異なるものが多数出品されておりました。パンジーについては、いずれも大輪を咲かせ、株がしまったも

のが出品されており、その中でも揃いの優れたものを東京都知事賞としました。ビオラは各色で花数や蕾の数が充実し、揃いの良いものを羽村市長賞としました。全体的に病虫害被害や徒長したものが少なく、栽培技術の高さが感じられるものでした。

その他、葉ボタン(9点)、シクラメン(8点)、ナデシコ(2点)の出品がありました。葉ボタンは、発色に優れ、葉の黄化のないもの、シクラメンは、花や蕾が多く、揃いの良いもの、ナデシコは株がしまっており、開花の多いものをそれぞれ上位とさせていただきます。いずれも目立った病虫害被害がなく、商品性の高いものでした。

今回、多様な品目・品種が出品され、消費者の期待にも応え得るものであったと感じます。これからも生産者の皆様には、今年以上の出品数と高い技術力を期待し、審査講評といたします。最後に、入賞された皆様にご心よりお祝い申し上げます。共進会に参加された全ての方々の努力に敬意を表します。

【問い合わせ先】西多摩農業改良普及センター

電話 0428(31)2374

農産物共進会審査結果



東京都知事賞のキュウリ



東京都知事賞のパンジー

特 別 賞 名	部 門	品 名	品 種	氏 名
東京都知事賞	野菜	キュウリ	クラージュ2	中野峰雄
	花卉	パンジー	ミックス	清水亮一
羽村市長賞	野菜	ピーマン	京まつり	中野峰雄
	花卉	ビオラ	ミックス	清水弘美
	果実	みかん	温州	中野峰雄
東京都産業労働局長賞	野菜	キャベツ	青琳	中野峰雄
東京都農業振興事務所長賞	野菜	かぶ	雪牡丹	安達久登
	花卉	ミニシクラメン	ミックス	中村大輔
	花卉	パンジー	よく咲くスマイル	中根亮汰
	果実	柚子		宮川陽一
東京都農業会議会長賞	野菜	レタス	パスポート	安達久登
東京都農業改良普及事業協議会長賞	花卉	ナゲシコ	テルスター	中島浩志
全国農業協同組合連合会東京都本部長賞	花卉	葉ボタン	はと	中島浩志
東京都農業共済組合長賞	野菜	トマト	桃太郎ピース	中野峰雄
西多摩地方農業委員会連合会長賞	野菜	白菜	きらぼし65	宮川豊
西多摩農業改良普及事業協議会長賞	花卉	中輪パンジー	ミックス	中村大輔
西多摩農業協同組合長賞	野菜	大根	福誉	田村克也
	野菜	ブロッコリー	サマードーム	田村克也
	花卉	ビオラ	ミックス	中根亮汰
	果実	柚子		石田博重
羽村市農業委員会長賞	野菜	パプリカ	ベイビーキス赤	安達久登
はむら市民と産業のまつり2023 農業展運営委員会長賞	野菜	人参	アロマレッド	中野峰雄

チャリティーへの協力、
ありがとうございました

11月5日に実施しましたはむら市民と産業のまつり2023農産物チャリティーバザーでは、たくさんの農産物を提供いただき、ありがとうございました。
売上金につきましては、羽村市社会福祉協議会に寄付いたしました。

また、羽村市農業後継者クラブでも、宝船の売上を同じく、羽村市社会福祉協議会に寄付いたしました。

◇農産物チャリティーバザー

【出品者数】 32人

【出品品目】 26品目

【寄付金額】 13万9千900円

◇羽村市農業後継者クラブ宝船

【寄付金額】 6万3千810円



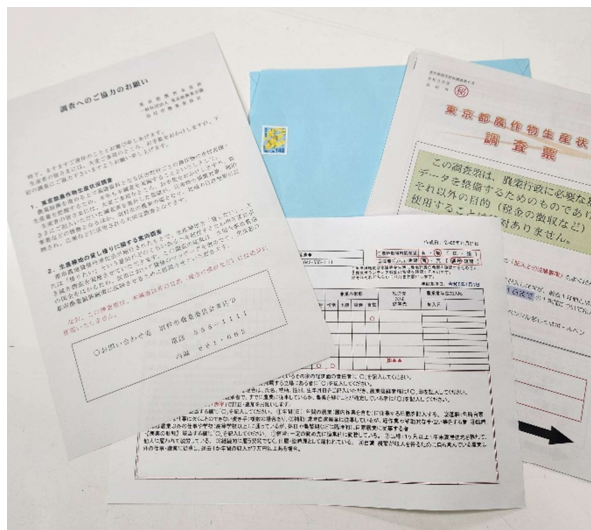
農家（農地）基本台帳及び経営農地等所有状況調査について

「農家（農地）基本台帳」及び「経営農地等所有状況」を配布します。記入例を参考に記載していただき、ご提出ください。

また、令和5年産の「東京都農作物生産状況調査」及び「生産緑地の貸し借りに関する意向調査」も同封しますので、ご回答をお願いします。

今回も対面での回収は行いません。返信用封筒を同封しますので、記入後は郵送での提出をお願いいたします。

提出期限 令和6年1月10日 水



【編集後記】

11月17日金曜日、天候は雨。農業委員になって4ヶ月が過ぎた。コロナ禍が収束して間もない時期だったなかで、委員の方々と食事を通じ活動を行った機会が印象に残る。

8月の新人研修会では小平市まで電車で行き、駅に近い蕎麦屋で昼食をとった。農地パトロールでは、市役所に戻り会議室でカレーライス。大盛りご飯が温かった。市民と産業のまつり2023でも委員の仲間とお弁当を食べた。

つい先程、雨カッパの郵便配達員から新聞を受け取ったばかり。「全国農業新聞」は毎週金曜日、第三郵便物で届けられるのだ。紙面には当農業委員会の記事が載っていた。農家者が日常お世話になる援農ボランティアの方々を呼び、交流会を開催した記事だった。そう私も原稿を急ごう。（一記）

【編集委員】

宮本健司、下田壯、阿部慎也、
井上淳孝、宮川篤

【事務局】

羽村市農業委員会事務局
（産業環境部産業振興課農政係）